人と自然が輝く町
TATESHINA TOWN
立科町

プレスリリース

令和５年（2023年）３月28日

「たてしなび」４月１日スタート
東信地区初！　町の情報を無償貸与のタブレットで配信

立科町では令和５年４月１日から、新たな情報配信システム「たてしなび」の正式運用を開始します。これまで有線放送によってお伝えしてきた町内のイベントや各種手続きに関するお知らせ、お悔やみなどの情報を配布したタブレット端末で提供。希望者には使用料・通信費無料で貸与しているほか、同システムはスマートフォンでも利用できるもので、東信地区の自治体では初の導入です。

１　システム概要

立科町情報配信システム「たてしなび」は、令和４年度のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して構築されたもので、株式会社デンソーが提供するアプリ『ライフビジョン』を用いて、行政情報等を中心に町民に配信します。町内全世帯分のタブレット端末2,625台を用意し、すでに希望世帯に無償貸与。スマホ版の同アプリもリリースしており、どなたもダウンロード可能です。

２　目的

デジタル配信により配布物等を減らすペーパーレス化、簡単な操作により高齢者等の「デジタルアレルギー」の解消を目指します。

３　その他詳細については、別紙をご確認ください。

※本件で取材をご希望の社は、立科町企画課企画情報係　斉藤真樹あてにご連絡ください。

立科町マスコットキャラクター
しいなちゃん

立科町公式ウェブサイト　http://www.town.tateshina.nagano.jp

立科町　企画課　企画情報係
（課長）竹重　和明　（担当）斉藤　真樹
電話：　0267-88-8403
FAX：　0267-56-2310
E-mail：kikaku@town.tateshina.nagano.jp

人と自然が輝く町
TATESHINA TOWN
立科町

プレスリリース

立科町行政情報配信システム「たてしなび」概要説明資料

1　導入経過

立科町では、長年にわたり佐久浅間農協が行う有線放送事業によって行政情報等の発信を行ってきましたが、設備の経年劣化に伴い更新には多額の費用が発生するため事業を廃止する意向が示されていました。これに代わる行政情報の配信方法として、専用タブレットおよび個人所有のスマホを用いた「たてしなび」の導入を決定しました。

2　情報配信の方法等

「たてしなび」は、株式会社デンソーが提供するアプリ（専用タブレット版・スマホ版）を立科町版にシステム構築し、タブレットおよび個人所有のスマホを用いて行政情報の配信を行います。

【スマホ版アプリのダウンロードについて】

下記 QR コードを読み取り、アプリ『ライフビジョン』と検索してください。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

⇑「ライフビジョン」アプリ ロゴ

3　タブレットについて

「たてしなび」の専用受信機となるタブレットには予めライフビジョンをインストール。町内各世帯分の 2,625 台のタブレット端末を用意し、3 月 27 日時点で約 70%(1,835 台)を希望者に貸与（使用料、通信費無料）しており、 2 月には希望者に対し使用方法などの講習も行っています。

４　導入財源

主な財源として、総事業費 192,888 千円のうち半分の 96,444 千円にデジタル田園都市国家構想推進交付金を充てています。

５　役割・効果等

（１）有線放送の代わる行政情報の配信手段を確保します。

（２）地域のデジタル社会への対応としての役割も重要視しています。なかでもスマートフォンやタブレット未経験の高齢者等が、今後のデジタル社会で情報弱者にならないよう「デジタルに対するアレルギー」を解消する役割を担います。また、将来的には従来の地域内回覧物や町広報誌を配信に置き換えることでペーパーレス化を推進します。

（３）タブレット端末には災害発生時等に自動で「緊急モード」に切り替わる機能を搭載しており、ユーザーの設定に関わらず最大音量で情報が配信されるなど防災面での活用も予定しています。また、Ｊアラートとも連携しており、緊急情報が即時に配信されるなど迅速な情報伝達も可能です。

（４）その他、システムに拡張性があるため独居高齢者の見守りや町民アンケート機能など、今後は更に多岐に活用することが可能です。

６　県内導入例

長野県内での同システムの導入は令和４年度末時点で当町を含め５自治体(豊丘村、下条村、下諏訪町、富士見町、立科町)。東信地区では、当町が初の導入です。

7　イメージ図（左：タブレット版、右：スマホ版）